

大会名 Competition	第29回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-105	Year Month Day Time 2016 年 5 月 3 日 17 : 30
場所 Place	能代市総合体育館

発行：能代市バスケットボール協会
http://ncup.snowland.net



チームA		チームB
市立船橋	(24 1st 23 26 2nd 12 17 3rd 9 25 4th 20 E P)	能代工
92 ○		64 ●

主審:Referee
芳賀 聡 福島

副審:Umpire
大川 修平 山形
中道 凌平 秋田

テーブルオフィシャル:Table officials
湯沢

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	石塚 周太	CAP	6	2	0	0	3	4	×	山田 柊人	CAP	13	3	1	2	0
5	×	田村 伊織		10	0	5	0	3	5	×	児玉 海渡		6	0	3	0	3
6	×	増田 修大		2	0	1	0	1	6	/	長濱 宏治郎		16	0	7	2	1
7	×	赤穂 雷太		23	0	9	5	0	7	/	熊谷 弥高		11	1	2	4	1
8	/	相川 大和		0	0	0	0	1	8	×	山田 魁都		1	0	0	1	1
9	/	富澤 春輝		4	0	2	0	1	9		石田 淳		-	-	-	-	0
10	/	島山 功		2	0	1	0	0	10		阿久津 穂		-	-	-	-	0
11	/	滝田 啓人		0	0	0	0	2	11	/	児玉 凜斗		5	1	1	0	1
12	/	島田 舜太		8	0	4	0	0	12	×	佐藤 侃		5	0	2	1	0
13	/	樋口 諒		0	0	0	0	0	13	/	齋藤 創		0	0	0	0	0
14	/	庄司 理宇		4	0	2	0	2	14	/	牧野 湧		0	0	0	0	1
15	/	前田 悟司		0	0	0	0	0	15	×	新田 由直		7	1	2	0	4
16	/	加藤 義規		6	2	0	0	0	16		小納 駿介		-	-	-	-	0
17	×	保泉 遼		23	3	6	2	3	17		守屋 壮次郎		-	-	-	-	0
18	/	野崎 由之		4	0	2	0	2	18		大日向 祐輝		-	-	-	-	0
コーチ		近藤 義行						0	コーチ		柴田 直宏						0
Aコーチ		林 裕輝						0	Aコーチ		杉沢 政						0
		合計		92	7	32	7	18			合計		64	6	18	10	12

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P% イントシュート 2P:2P% イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

1Q、先制点まで2分以上かかる静かな立ち上がりだったが、一本入ると一転して点の取り合いになる。市立船橋はオフェンスリバウンドやワンパスからのゴール下、能代工はドライブやジャンプシュートで得点する。市立船橋がリードして進んでいたが、能代工はフルコートディフェンスの頑張りからミスを誘い、#11児玉(凜)が3Pを決めて17-17と同点に追いつく。市立船橋も#17保泉のドライブなどで加点し、24-23と1点リードで1Qを終える。

2Qもはじめは一進一退。能代工は#6長濱がジャンプシュートを連続で沈める。市立船橋は34-33の残り6:31に5人全員を変えると、変わった5人が激しいディフェンスで能代工のミスを誘う。30秒で元の5人に戻ったが、ここから市立船橋がリズムを掴んで一気に連続11得点。反対に能代工は5分以上無得点の時間が続いた。50-35の市立船橋15点リードで前半終了。

3Qは、能代工#4山田がドライブから得点して始まる。市立船橋は#7赤穂のゴール下のプレイなどで着実に加点し、じりじりと引き離していく。能代工は#15新田がゴール下のシュートを決めたり、リバウンドに何度もトライしたりするなどの頑張りを見せるが、なかなか点差は詰まらない。67-44で3Q終了。

4Q、市立船橋は交代を繰り返す中で#17保泉のジャンプシュート、#16加藤の3Pで得点する。スモールラインアップの能代工は、フルコートのディフェンスから#4山田の3P、#7熊谷がドライブやフリースローを決めて追いつがるが、点差は縮まらない。最後までオフェンスを緩めなかった市立船橋が92-64でこの一戦を制した。